

(公開学習 I) 小学校第 2 学年 2 組 音楽科学習指導案

授業者 榎田 祐子
小学校 音楽室

1 題材名 打って 動いて 合わせよう ～ほうねん太鼓～

2 授業構成

(1) 教師と教材

本題材は、新学習指導要領の次の内容に位置づけられている。

- A 表現 (2) イ 楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。
ウ 身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏すること。
エ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。
- B 鑑賞 (1) イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。
- 【共通事項】 音色・リズム・速度・強弱・拍の流れやフレーズ/反復

木と牛皮で作られた和太鼓は、昔から祭礼や盆踊りなどを通して、豊作の祈り、雨乞いなどの思いを込めて演奏されてきた。打てば響くその音は、耳だけではなく全身に伝わり、集団で打てばさらに迫力を増す。本題材で取り上げる『ほうねん太鼓』は、豊作への感謝と喜びを表しており、ヨイサのかけ声の部分ではさまざまな動きやリズムを工夫することのできる作品である。地打ちにのって打つことによって得られる拍感、反復されるリズムや動作から感じ取るフレーズ感などを全身で捉えることができる。また、いろんな速さを試したり、強弱のつけ方を工夫したりすることによって、合奏の楽しさやおもしろさを感じ取ることもできると考えた。

本時は、それまで自分たちが練習してきた「ほうねん太鼓」をさらに速度を上げて、生き生きとした演奏に仕上げていく。今までの演奏との表現の違いを捉え、速度を上げることによって生じる演奏上の問題点を、児童が主体的に解決していくような授業を構成することにした。

(2) 子どもと教師

本校音楽科では今年度、新学習指導要領に新設された「共通事項」をふまえた授業づくりはどうあるべきかを追究していくことにした。1時間1時間の授業の中で、児童生徒がその音楽のよさや特質を主体的に捉えていくためには、どのような表現・鑑賞の活動を展開し、どのように支援していったらよいか考えながら実践している。

本学級の児童は、1年生の題材「龍神太鼓で雨をふらそう」で、和太鼓の基本的な打ち方や振りを習得するとともに、くり返し出てくるリズムに雨乞いの願いが込められていることも捉えた。そして、天に願いが届くように、打ち方や振りを工夫しながら演奏した。2年生の題材「マンボのリズムにのって」では、ステップやかけ声を取り入れ、お互いに拍とリズムを合わせることを体得してきた。しかし中には、休符が待てずに速くなったり、動きがずれて遅くなったりする児童も多かった。

そこで本題材では、地打ちの音や友だちに合わせて演奏し、自分の思いを打ち方と動きで表現することに取り組んでいる。そして本時は、速度の違いに対応した打ち方や動きを追究しながら、さらに地打ちの音や友だちの動きに合わせていく力を身につけさせたい。また、模範演奏や友だちのよい点を自分でみつけ、「型をまねる」「技をぬすむ」といった学び方も深めていきたいと考えている。

(3) 子どもと教材

本時は、これまでの児童の演奏より速いものをビデオで鑑賞し、速度を上げると演奏がかっこよくなったり、生き生きしたりすることに気づき、自分たちもやってみたいという意欲をもつところから始める。そして、実際に速い演奏に挑戦すると、リズムが乱れる、動きが間に合わないなどの課題が出てくるであろう。おそらく児童がつまづき易いのは、「ストドンドンのリズム」「回転技」「打ち手の交代」ではないかと予想される。その際には、できるだけ児童が演奏を通して主体的に解決していくための支援をしたい。うまくできない児童にはうまくできる児童のよいところを取り入れるように

助言し、うまくできる児童には友だちに教えたり説明したりするように促す。打ち方や動きは体で覚えることが大切なので、その場で一齐に素振りや口唱和で練習したり、教え合ったりする時間を設けていく。個人での練習には「特訓」、班での練習には「作戦」という言葉を用いて意欲を高めていきたい。自力解決できないと見取った児童には教師が直接かかわって支援し、他の児童にも必要と思われる内容については全体に拡げていく。

まとめの演奏では、「速度」が音楽表現にとって大切な役割を果たしていること、よい演奏をするためには自分たちにとって適切な速さがあることも理解させたい。したがって、速度を上げたことによってリズムが乱れたり動きが小さくなったりした場合には、やや速度を落とすことを助言したい。本時の学習を通して、「速度」によって音楽表現が変わることを実感し、これからの学習に生かしていくことを願っている。

3 題材の目標

- 「ほうねん太鼓」のリズムと振りを習得し、地打ちに合わせてアンサンブルを楽しむ。
- ヨイサのかけ声に合う動きやリズムを考えて、自分の思いをこめて演奏する。
- 速度を変えたり、強弱をつけたりして表現の工夫をする。

4 学習計画（全9時間）

- 第1次 「ほうねん太鼓」との出会い（1時間）
- 第2次 ストドン名人になろう（2時間）
- 第3次 ヨイサの動きやリズムを工夫しよう（2時間）
- 第4次 「ほうねん太鼓」を仕上げよう（3時間）… **本時 1 / 3**
- 第5次 「ほうねん太鼓」発表会（1時間）

5 本時の学習について

(1) 本時目標

自分たちが練習してきた「ほうねん太鼓」の速度を上げることを通して、速さによる表現の違いを捉えたり、演奏上の問題点を解決したりしながら、より生き生きとした演奏に仕上げていく。

(2) 期待される児童の様相

- A 速さに対応した打ち方や動きができ、どうしたらうまくできるかを説明したり教えたりすることができる。
- B 速さに対応した打ち方や動きを練習し、うまくできる方法を追究している。
- C 速さに対応した打ち方や動きを、友だちの方法を参考にして身につけようとしている。

(3) 本時の展開（○教師の意図 ◇全体への支援 ◆個への支援）

学 習 活 動	教 師 の 支 援 ・ 意 図
1 「ほうねん太鼓」の速い演奏をビデオで鑑賞して、気づいたことや感じたことを発表する。 ・かっこいい ・迫力がある ・いきいきしている ・むずかしそう	○演奏の速さが変わると表現の感じが変わることに気づかせ、演奏への意欲を高めたい。 ◇これまで自分たちが演奏してきた速さと比べてみるように促す。 ◇次の学習活動につながるように、鑑賞する側の意見と演奏する側の意見とを区別しながらまとめていく。
2 今日のみあてを確認し、実際に速い演奏をしてみる。	○実際にビデオと同じ速さで演奏することを通して、自分や自分たちの課題をつかませたい。
「ほうねんだいこ」スピードアップにちょうせん！	
・米俵を持ち上げるポーズ	◇児童がビデオと同じ速さに挑戦したい意欲が高まるよ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 棒打ち+バチ合わせ ・ 回転技 <p>3 速い演奏にしてうまくいった点とうまくいかなかった点を出し合い、どうしたらよいか自分たちの課題を解決していく。</p> <p>＜予想される課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リズムが乱れる ・ 交代が遅れる ・ 回転技が間に合わない 	<p>うに、あえてやや遅い速さを薦める。</p> <p>○リズムや動きがいい加減になってしまった場合に、自分たちにふさわしい速さを探るための伏線としたい。</p> <p>○課題だけでなく成果も取り上げることによって、意欲を高めたい。</p> <p>◇速さを変えるだけで、子どもたちの表現がどのようになったかを教師からも紹介する。</p> <p>◇出された課題のうち、個人で解決するものとグループで解決するもの、簡単そうなものと難しそうなものとに分けて、取り組む順を決める。</p>
---	--

速くてカッコいい「ほうねんだいこ」にするにはどうしたらよいか。

<p>① 自分で特訓しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 腕の動きを速くする ・ 口唱和を速く言う ・ かけ声を大きくする ・ 回転する勢いをつける <p>② 班で作戦を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交代するかけ声（ソーレ）のときに準備する ・ かけ声と同時にさっとよける <p>4 自分たちの特訓や作戦を生かして、まとめの演奏をする。</p>	<p>○話し合いではなく、実際に演奏したり動いたりしながら追究させたい。</p> <p>◇くり返し練習した方がいい場合は、素振りで一斉に練習する形態をとる。(C←D)</p> <p>◆できるようになった児童には、友だちに教えるように促す。(A←B)</p> <p>◆うまくできる児童や上手に教えている児童にできる方法を説明させ、改善のヒントにする。(A←B) (B←C)</p> <p>◆なかなか改善されない児童に直接指導する。(C←D)</p> <p>○改善した個人の技を試すためと、交代の仕方を練習するために、地打ちにのって演奏する場を設定したい。</p> <p>◇交代がうまくできる作戦を立てるように促す。(B←C)</p> <p>◆交代が上手な班に実際に演奏させ、その後で自分たちの作戦を説明させる。(A←B)</p> <p>○「ほうねんだいこ」をよりよく仕上げるためには、自分たちのよい演技ができる速さの設定が大切であることに気づかせたい。</p> <p>◇自分たちにふさわしい速さを設定するために、ビデオと同じ速さで本当によいかどうかを問いかける。</p> <p>◆演奏中、よくなった児童やグループに声をかけていく。</p>
---	--

打ち方や動きに磨きをかけること+自分たちに合った速さで演奏することが大切

<p>5 本時の学習のふり返りをワークシートに書く。</p>	<p>○今日のめあてがどのくらい達成できたかを4段階のマークの中から選び、なぜそのマークを選んだのかを書くことによって自己評価ができるようにしたい。</p>
--------------------------------	--